

# AQUOS R2

SHV42

## 取扱説明書



### 「オンラインマニュアル」を利用する

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『オンラインマニュアル』は、本製品から以下の操作でご確認できます。

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[サポート]→[取扱説明書]

また、『オンラインマニュアル』はauホームページからもご確認できます。

<https://www.au.com/online-manual/shv42/>

- 本書は、Android™バージョン 8.0の内容で記載しています。  
最新版はオンラインマニュアルまたはauホームページに掲載の『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。  
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>
- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 免責事項については、『ご利用にあたっての注意事項』をご参照ください。

2018年5月第1版  
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)  
製造元:シャープ株式会社  
TINSJB319AFZZ

## お問い合わせ先番号

### お客さまセンター

総合・料金・操作方法について (通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

一般電話からは | au電話からは  
☎ 0077-7-111 | 局番なしの 157番

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

☎ 0120-977-033 (沖縄を除く地域)

☎ 0120-977-699 (沖縄)

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて (通話料無料)

受付時間 24時間 (年中無休)

一般電話からは | au電話からは  
☎ 0077-7-113 | 局番なしの 113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

☎ 0120-925-314

### 故障紛失サポートセンター

紛失・盗難・故障について (通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

一般電話/au電話から

☎ 0120-925-919



モバイルリサイクルネットワーク  
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず♻️マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

❗ やめましょう、歩きスマホ。

⚡ キケン! 水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、異常な発熱・焼損などの原因となり大変危険です。

## ごあいさつ

このたびは、「AQUOS R2 SHV42」(以下、「SHV42」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に本体付属の『取扱説明書』『ご利用にあたっての注意事項』『設定ガイド』またはauホームページより『取扱説明書 詳細版』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

## 同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



シャープ  
TVアンテナケーブルO2  
(02SHHSA)\*1



SIM取り出しツール  
(試供品)\*2

- クリアケース(試供品)
- 取扱説明書
- ご利用にあたっての注意事項
- 設定ガイド

\*1 本製品でテレビを視聴するときに、接続する必要がありますので、紛失等にご注意ください(▶P.5)。

\*2 au Nano IC Card 04およびmicroSDメモ리카ードの取り付け/取り外しに使用します。

以下のものは同梱されていません。

- ロボクル
- au Nano IC Card 04
- microSDメモ리카ード
- ACアダプタ
- イヤホン
- USB Type-C™ケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

◎ 電池は本製品に内蔵されています。

◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。


## 取扱説明書について

### ■ 「取扱説明書」「設定ガイド」

主な機能の主な操作のみ説明しています。

### ■ 「オンラインマニュアル」

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した「オンラインマニュアル」は、本製品から以下の操作でご確認できます。

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[サポート]→ 取扱説明書

また、「オンラインマニュアル」はauホームページからもご確認できます。

<https://www.au.com/online-manual/shv42/>

### ■ 「取扱説明書 詳細版」

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した「取扱説明書 詳細版」は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

### ■ For Those Requiring an English Instruction Manual

#### 英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual, Notes on Usage and Setting Guide from the au website (available from approximately one month after the product is released).

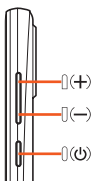
『取扱説明書(英語版)』『ご利用にあたっての注意事項(英語版)』『設定ガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL: <https://www.au.com/english/support/manual/>

## 本書の表記方法について

### ■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



### ■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[端末情報]	AQUOS Home画面で画面を上から下にスワイプ／フリックしてアプリ一覧画面に切り替え、次に「設定」をタップします。続けて「システム」「端末情報」の順にタップします。
⏻(2秒以上長押し)	⏻を2秒以上長押しします。

※ タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽くたたいて選択する動作です。

### ■ 掲載されているイラスト・画面表示について

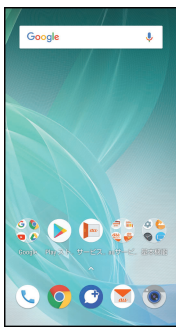
本書はau Nano IC Card 04を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。本書では縦表示の操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。

記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



実際の画面



本書の表記例

- 本書では本体カラー「アクアマリン」の表示を例に説明しています。
- 本書ではAQUOS Homeでの操作を基準に記載しています。「ホーム切替」などでホームアプリを切り替えた場合は、操作が異なる場合があります。
- 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- 本書では「au Nano IC Card 04」の名称を「au ICカード」と表記しています。
- 本書では「microSD™メモ리카ード(市販品)」「microSDHC™メモ리카ード(市販品)」「microSDXC™メモ리카ード(市販品)」の名称を「microSDメモ리카ード」もしくは「microSD」と省略しています。
- 本書の表記の金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™、®マークを省略している場合があります。

## マナーも携帯する

### ■ こんな場所では、使用禁止！

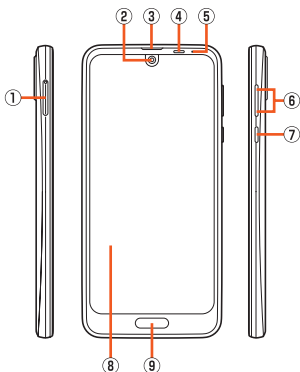
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

### ■ 周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まったの通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

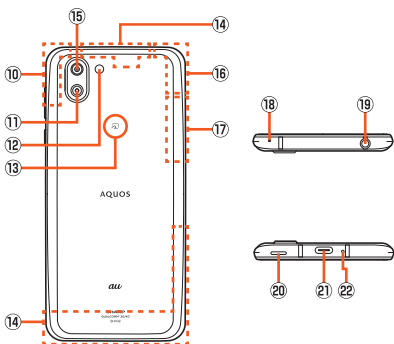
## 各部の名称と機能

### ■ 正面／左右側面



- ① au ICカード／microSDメモ리카ードトレイ
- ② インカメラ(レンズ部)
- ③ 受話口(レシーバー)
- ④ 近接センサー／光センサー  
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。  
光センサーは周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑤ 充電／着信ランプ  
充電／着信ランプについて詳しくは、「充電／着信ランプについて」(▶P.14)をご参照ください。
- ⑥ [(+)] [(-)] 音量UP／DOWNキー  
音量を調節します。
- ⑦ [(⏻)] 電源キー  
画面を点灯／消灯します。  
長押しすると、電源ON／OFFや再起動ができます。
- ⑧ ディスプレイ(タッチパネル)
- ⑨ 指紋センサー  
指紋認証による、ロック画面の解除などに利用します。また、ホームキーとして利用するように設定することもできます。

## ■ 背面／上下側面



⑩ Wi-Fi<sup>®</sup>／Bluetooth<sup>®</sup>アンテナ

⑪ 標準アウトカメラ(レンズ部)

⑫ モバイルライト

⑬ 〻マーク

おサイフケータイ<sup>®</sup>やNFC機能利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。

⑭ 内蔵アンテナ

⑮ 動画専用アウトカメラ(ドラマティックワイドカメラ)(レンズ部)

⑯ GPS／内蔵アンテナ

⑰ Wi-Fi<sup>®</sup>アンテナ

⑱ サブマイク

⑲ イヤホンマイク端子

テレビを利用(視聴／録画)する場合は、シャープ TVアンテナケーブル02をイヤホンマイク端子に接続します(▶P.5)。

⑳ スピーカー

㉑ 外部接続端子

ロボクル(別売)やTypeC共通ACアダプタ01／02(別売)、USB Type-Cケーブル(市販品)、周辺機器接続用USBケーブル(市販品)などの接続時に使用します。

ロボクル(別売)やTypeC共通ACアダプタ01／02(別売)、USB Type-Cケーブル(市販品)などを接続すると、接続機器の磁気が影響し、本体の地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。地磁気センサーを利用する機能やアプリケーションを使用する場合はケーブル類を取り外してください。

㉒ 送話口(マイク)

◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切る場合は、「強制的に電源を切る」(▶P.10)をご参照ください。

**au ICカード／microSDメモリカードトレイについて**

◎ au ICカード／microSDメモリカードトレイを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

**受話口(レシーバー)、近接センサー／光センサー、サブマイク、スピーカー、送話口(マイク)について**

◎ 近接センサー／光センサーの上にシールなどを貼ると、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

◎ 受話口(レシーバー)、サブマイク、スピーカー、送話口(マイク)をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。

**Wi-Fi<sup>®</sup>／Bluetooth<sup>®</sup>アンテナ、内蔵アンテナ、GPS／内蔵アンテナ、Wi-Fi<sup>®</sup>アンテナについて**

◎ アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。通話／通信品質が悪くなる場合があります。

**イヤホンマイク端子について**

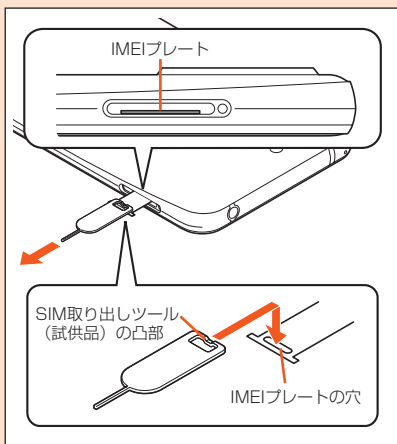
◎ スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

**IMEIプレートについて**

◎ au ICカード／microSDメモリカードトレイの挿入口付近には、IMEI情報(端末識別番号)、CEマークなどを印刷したシールが貼られたプレートが収納されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI番号が必要となる場合を除き、プレートを引き出さないでください。また、シールをはがしたりしないでください。

### IMEIプレートを引き出すには

- ① ディスプレイ面を上向きにして、au ICカード／microSDメモ리카ードトレイを引き出す。  
(au ICカード／microSDメモ리카ードトレイの引き出しかたについては、「au ICカードを取り付ける」(▶P.7)手順 **1**・**2**をご参照ください。)
- ② ディスプレイ面を下向きにして、付属のSIM取り出しツール(試供品)の凸部をIMEIプレートの穴にかけて、IMEIプレートを引き出す。(IMEIプレートは引き抜かないでください。)

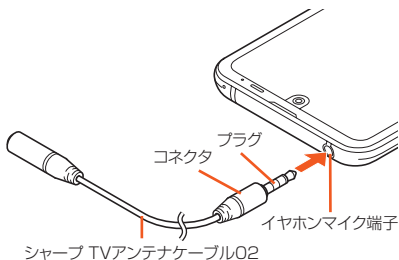


- ◎ IMEIプレートを引き出す時は、付属のSIM取り出しツール(試供品)を使用してください。  
SIM取り出しツール以外を使用すると、破損や故障などの原因となる場合があります。
- ◎ IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ◎ IMEIプレートを引き出してしまった場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと差し込んでください。
- ◎ 本製品を操作してIMEIを確認することもできます。  
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[端末情報]→[端末の状態]→[IMEI情報]と操作して、IMEI欄を確認

## シャープ TVアンテナケーブル02を接続する

テレビを利用(視聴/録画)する場合は、シャープ TVアンテナケーブル02を接続してください。

- 1** イヤホンマイク端子にシャープ TVアンテナケーブル02のプラグを差し込む



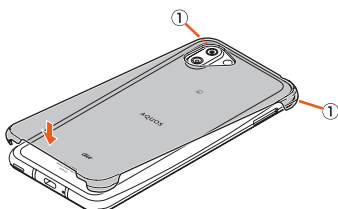
## クリアケース(試供品)を取り付ける／取り外す

### クリアケース(試供品)を取り付け／取り外しについて

クリアケース(試供品)の取り付け／取り外しは、本製品のディスプレイなどが傷つかないように、手に持って行ってください。また、指や手で①(Ⓞ)電源キー、②(+)(-)音量UP/DOWNキーを押さないようにご注意ください。クリアケース(試供品)の取り付け／取り外しの際は、無理な力を入れて曲げたり、ねじったりしないでください。

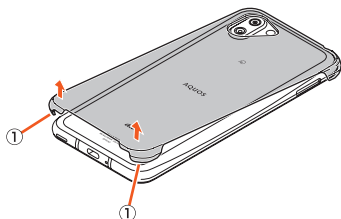
### クリアケース(試供品)を取り付ける

- ① クリアケース(試供品)の①の部分の本製品に引っ掛けて、図の向きでクリアケース(試供品)を取り付ける



### クリアケース(試供品)を取り外す

- ① クリアケース(試供品)の①の部分に指先をかけて、図の向きでクリアケース(試供品)を取り外す

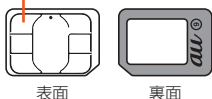


## au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。

au Nano IC Card 04

IC(金属)部分



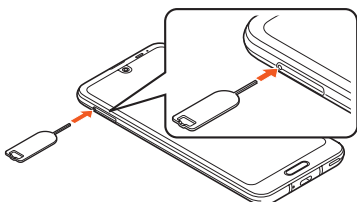
- au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご確認ください。
  - ・ au ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
  - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
  - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- au ICカードを正しく取り付けしていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- au ICカード着脱時は、必ずTypeC共通ACアダプタ01/02(別売)などのUSB Type-Cプラグを本製品から抜いてください。
- au ICカードの取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出しツール(試供品)が必要です。

# au ICカードを取り付ける／取り外す

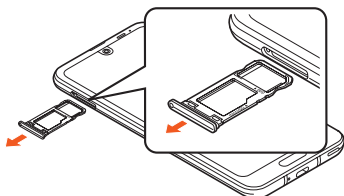
## au ICカードを取り付ける

au ICカードの取り付けは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

- 1 SIM取り出しツール(試供品)の先端をau ICカード／microSDメモリカードトレイ取り出し用の穴に差し込む**  
カードトレイが出てくるまで、しっかりと水平に差し込んでください。水平に差し込まないと破損や故障の原因となります。

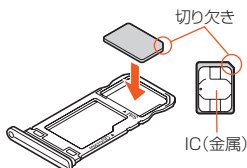


- 2 au ICカード／microSDメモリカードトレイを引き出す**



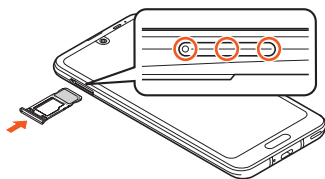
- 3 au ICカードのIC(金属)面を下向きにして、au ICカード／microSDメモリカードトレイに取り付ける**

au ICカードの向きに注意して、確実にトレイに取り付けてください。au ICカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



- 4 ディスプレイ面を上向きにして、au ICカード／microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む**

○部分をしっかりと押し、本体とカードトレイに隙間がないことを確認してください。



### au ICカード／microSDメモリカードトレイの着脱について

- au ICカードやmicroSDメモリカードは、直接本体に差し込まないでください。カードをトレイに取り付けた後で、トレイごと本体に差し込んでください。
- 取り外したau ICカード／microSDメモリカードトレイは紛失・破損しないようにご注意ください。



- ◎ カードトレイを本体から引き出すときは、ディスプレイ面を上向きにしてゆっくりと水平に引き出してください。
  - ・ カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
  - ・ ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でカードトレイを引き出すと、カードトレイに取り付けられているau ICカードやmicroSDメモリカードが外れ、紛失する可能性があります。
- ◎ カードトレイを本体に取り付けるときは、ディスプレイ面を上向きにしてゆっくり差し込み、本体とカードトレイに隙間がないことを確認してください。
  - ・ カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損するおそれがあります。
  - ・ カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。
  - ・ カードトレイの閉じかたについて詳しくは、『ご利用にあたっての注意事項』の「au ICカード／microSDメモリカードトレイの閉じかた」をご参照ください。

## au ICカードを取り外す

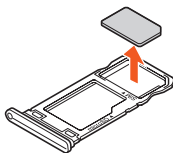
au ICカードの取り外しは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

- ・ au ICカード／microSDメモリカードトレイの着脱について詳しくは、「au ICカードを取り付ける」(▶P.7)をご参照ください。

### 1 SIM取り出しツール(試供品)を利用してau ICカード／microSDメモリカードトレイを引き出す

引き出すときに、au ICカードがトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。

### 2 au ICカードをau ICカード／microSDメモリカードトレイから取り外す



### 3 ディスプレイ面を上向きにして、au ICカード／microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

## microSDメモリカードを利用する

### microSDメモリカードを取り付ける

microSDメモリカードの取り付けは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。

また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

- ・ au ICカード／microSDメモリカードトレイの着脱について詳しくは、「au ICカードを取り付ける」(▶P.7)をご参照ください。

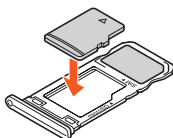
### 1 SIM取り出しツール(試供品)を利用してau ICカード／microSDメモリカードトレイを引き出す

### 2 microSDメモリカードの端子(金属)面を下向きにして、au ICカード／microSDメモリカードトレイに取り付ける

microSDメモリカードの向きに注意して、確実にトレイに取り付けてください。

microSDメモリカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。

浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



### 3 ディスプレイ面を上向きにして、au ICカード／microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に取り付けると、破損したりするおそれがあります。
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

## microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。

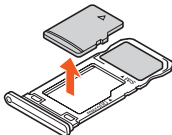
また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

・ au ICカード／microSDメモリカードトレイの着脱について詳しくは、「au ICカードを取り付ける」(▶P.7)をご参照ください。

### 1 SIM取り出しツール(試供品)を利用してau ICカード／microSDメモリカードトレイを引き出す

引き出すときに、microSDメモリカードがトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。

### 2 microSDメモリカードをau ICカード／microSDメモリカードトレイから取り外す



### 3 ディスプレイ面を上向きにして、au ICカード／microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

## 充電する

### 充電について

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

・ 充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は内蔵電池の寿命の可能性があります。ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[端末情報]→[端末の状態]→[電池の状態]と操作すると、内蔵電池の充電能力を確認できます。

・ 充電中は電池マークに⚡が重なって表示されます。

・ 充電中の充電／着信ランプについて詳しくは、「充電／着信ランプについて」(▶P.14)をご参照ください。

◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。

◎ 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際、安全のため充電が停止することがあります。

◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。

◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。

◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

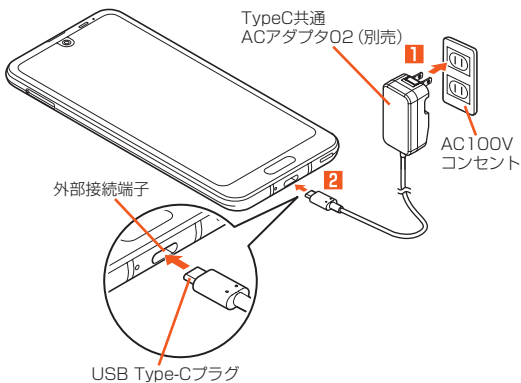
◎ 充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、強制的に電源を切り(▶P.10)、電源を入れ直してください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。

## 指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

TypeC共通ACアダプタ02(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)について詳しくは、「周辺機器」(▶P.19)をご参照ください。

### 1 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

### 2 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを、本製品の外部接続端子に矢印の方向に差し込む



**3** 充電が終わったら、本製品の外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く

**4** TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

## 電源を入れる／切る

### 電源を入れる

**1** 電源が切れた状態で $\text{⏻}$  (3秒以上長押し)

◎ 電源を入れてから「AQUOS」の表示が終了するまでの間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

◎ お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。初期設定について詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。

### 電源を切る

**1**  $\text{⏻}$  (2秒以上長押し)

**2** [電源を切る]

#### 再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

**1**  $\text{⏻}$  (2秒以上長押し)

**2** [再起動]

#### 強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

**1**  $\text{⏻}$  (8秒以上長押し)

バイブレータが振動した後、手を離すと電源が切れます。

◎ 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

#### セーフモードで起動する

本製品の電源をいったん切り、お買い上げ時に近い状態で起動します。

本製品の動作が不安定になった場合、お買い上げ後にインストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合、インストールしたアプリケーションをアンインストールすると症状が改善されることがあります。

**1**  $\text{⏻}$  (2秒以上長押し)

**2** [電源を切る]をロングタッチ→[OK]

セーフモードで起動すると、画面下部に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了するには再起動してください。

- ◎ 電源が切れているときは、**⏻**(3秒以上長押し)で電源を入れ、AQUOSロゴが表示されてからロック画面が表示されるまで**⏻**を押し続けると、セーフモードで起動することができます。
- ◎ セーフモードで起動する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
- ◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合はセーフモードを終了してください。

## 画面点灯／消灯について

**⏻**を押すか、一定時間操作しないと画面が消灯します。

### ■ 画面を点灯する

#### 1 画面消灯中に**⏻**

- ◎ ポケットやかばんなどに入れる際は、画面を消灯してください。画面を点灯させたまま入れると、誤動作の原因となります。

### ■ 持つと画面点灯について

「持つと画面点灯」が設定されている場合は、本製品を持ち上げて静止すると、画面が点灯します。(お買い上げ時、この機能は有効になっています。)

- ◎ 次の場合などでは、点灯しないことがあります。
  - ・ 本製品を持ったまま動いている(歩行中や乗車中などの)場合
  - ・ 持ち上げる前やその後に本製品を動かし続けている場合
  - ・ 垂直または水平に持ち上げた場合

## ロック画面について

画面を点灯するとロック画面が表示されます。

指紋を登録している場合は、指紋センサーにタッチするだけで画面ロックを解除することができます。



《ロック画面》

- ① 壁紙
- ② お知らせエリア  
不在着信／新着メール／新着SMSなどの通知がポップアップ表示されます。通知をダブルタップすると対応した画面が表示されます。  
お知らせエリアを下にドラッグすると、通知の一覧が表示され、通知をタップすると対応した画面が表示されます。
- ③ 音声アシスト起動  
「**🎤**」を画面上部にスワイプするとGoogle™ アシスタントを起動します。
- ④ 時計
- ⑤ エモパーエリア  
「エモパー」をONに設定している場合、エモパーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。
- ⑥ 画面ロック  
「**🔒**」を画面上部にスワイプすると画面ロックを解除できます。  
・ 「画面ロック」にパスワードなどを設定しているときは**🔒**が表示されます。
- ⑦ カメラ起動  
「**📷**」を画面左にスワイプすると「カメラ」アプリを起動します。

## タッチパネルの使いかた

### ■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

- 画面に表示された項目やアイコンを選択します。静止画表示中やWebページ閲覧中などにダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。

### ■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

- 項目によっては、利用できるメニューが表示されます。

### ■ スライド／スワイプ／ドラッグ

画面に軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

- 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時にゲージやバーの操作に使用します(スライド／スワイプ)。

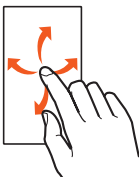
- 項目やアイコンを目的の位置まで移動します(ドラッグ)。



### ■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

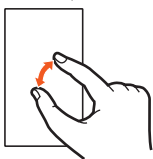
- ページの切り替えや文字のフリック入力などを行います。



### ■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。

- Webページなどで画面を拡大／縮小します。



## AQUOS Homeを利用する

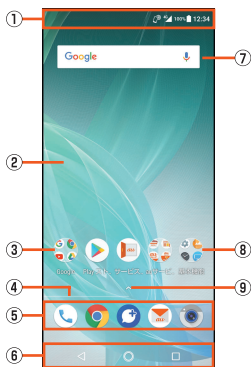
AQUOS Homeは、ホーム画面(デスクトップシート／お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。

ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ／機能のショートカット／ウィジェット、お気に入りトレイにはアプリ／機能のショートカットを登録することができます。アプリ一覧画面にはインストールされているアプリが表示されます。

### ■ AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上からスワイプ／フリックすると、アプリ一覧画面に切り替わります。

アプリ一覧画面で一番上を表示した状態で下からスワイプ／フリックすると、ホーム画面に切り替わります。



《ホーム画面》



《アプリ一覧画面》

① ステータスバー

② デスクトップシート

左右にフリックするとページを切り替えることができます。

③ アプリ

- ④ ページインジケータ  
デスクトップシートのページを切り替えたときに、現在の表示位置を表示します。
- ⑤ お気に入りトレイ  
お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。
- ⑥ ナビゲーションバー
- ⑦ 検索  
クイック検索ボックスを利用できます。
- ⑧ フォルダ  
フォルダをタップ→フォルダ名を選択すると、フォルダ名を変更できます。フォルダ名が未設定のときは、「名前のないフォルダ」と表示されます。フォルダをタップしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。
- ⑨ アプリ一覧画面の表示  
タップするとアプリ一覧画面に切り替わります。
- ⑩ アプリを検索  
インストールされているアプリの検索などができます。

## 本製品の状態を知る

### アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

#### ■ 主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着auメールあり
	新着+メッセージあり／新着SMSあり
	新着PCメールあり
	新着Gmail™あり
	発信中、通話中、着信中
	保留中
	簡易留守録情報あり
	本体メモリの空き容量低下
	利用可能なアップデートあり
	アプリケーションのインストール完了
	ソフトウェア更新情報あり
	まとめられたアイコンあり

#### ■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態 ～:残量表示 :残量なし ・充電中は電池マークに⚡が重なって表示されます。 ・電池マークの左に電池残量を%で表示することができます。
	機内モード設定中
	電波の強さ(受信電界) ～:レベル表示 :圏外 ・ネットワークを示すアイコンが左上に表示されます。 :LTE/WiMAX 2+使用可能* ・通信中は📶が重なって表示することができます。
	ローミング中
	マナーモード状態 :通常マナー :サイレント :アラームのみ :優先する通知のみ
	ハンズフリーで通話中
	通話中のマイクを「ミュート」に設定中
	簡易留守録設定中 :簡易留守録なし :簡易留守録あり(1~49件) :簡易留守録が50件

\*「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

## お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。  
また、マナーモードや機内モードなどを設定できます。

### ■ お知らせパネルを表示する場合

#### 1 ステータスバーを下にスライド

### ■ ステータスパネルを表示する場合

#### 1 ステータスバーを2本の指で下にスライド

### ■ お知らせ／ステータスパネルの見かた



《お知らせパネル》



《ステータスパネル》

#### ① 機能ボタン

よく使う機能の設定を変更することができます。操作方法は機能によって異なります。

- ステータスパネルでは、左右にフリックすると、ページを切り替えることができます。

#### ② お知らせ

本製品の状態や通知の内容を確認できます。通知をタップすると対応するアプリケーションを起動できます。

- 通知を左右にフリックすると削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。
- 表示範囲を上にはスライドすると、隠れているお知らせを表示できます。
- 通知を2本の指で上下にスライドまたはピンチイン／ピンチアウトすると詳細表示と簡易表示を切り替えられます。詳細表示では、表示されるメニューから直接メッセージの返信などを行うことができます。
- 通知をロングタッチすると、アプリの通知を設定できます。

#### ③ 設定

タップすると本製品について、各種設定を行います。

#### ④ 切り替えボタン

タップするとお知らせパネルとステータスパネルを切り替えます。

#### ⑤ すべて消去

タップすると通知がすべて消去されます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。

#### ⑥ 明るさ調整バー

バーを左右にスライドして明るさを設定します。

#### ⑦ 編集

表示する機能ボタンを変更したり並べ替えたりできます。

- ◎ 画面を上下にスライドすると、お知らせパネル／ステータスパネルを切り替えられます。

## 充電／着信ランプについて

充電／着信ランプの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	緑色	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	白色	不在着信など新着通知あり

- アプリによっては、充電／着信ランプについて設定できるものがあります。

- ◎ ディスプレイが表示されている場合、不在着信など新着通知をお知らせする充電／着信ランプが点滅しません。お知らせ／ステータスパネルでのお知らせアイコンを確認してください。
- ◎ 充電完了(電池残量100%表示)後も、指定の充電用機器(別売)を接続したままの状態では、緑色で点灯し続けます。

## マナーモードを設定する

公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定します。

### 1 ステータスパネルを表示→[マナーモード]→ONに設定する



《マナーモード設定画面》

#### ① マナーモードの種類

#### ② 動作説明

#### ③ 解除までの期間

#### ④ 詳細設定

#### ⑤ ON/OFF設定

タップするとマナーモードのON/OFFを切り替えられます。

#### ⑥ 完了

マナーモードの設定を終了します。

## アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ/機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

例：アルバムを起動した場合

### 1 「アプリに必要な許可」の確認画面→[次へ]

### 2 [許可しない]／[許可]

通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。  
利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

### ■ 利用する機能について設定する

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

#### ■ アプリごとに利用する機能を設定する

### 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アプリと通知]→[アプリ情報]

### 2 アプリを選択→[権限]

### 3 機能を選択

#### ■ 機能ごとに利用するアプリを設定する

### 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アプリと通知]→[アプリの権限]

### 2 機能を選択

### 3 アプリを選択

○ 許可をしないとアプリ/機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。

○ アプリ/機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認のうえ、画面に従って操作してください。

○ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。



## 文字入力

### ソフトウェアキーボードを切り替える

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。  
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄を選択すると表示されます。  
本製品では、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

12キー	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーを繰り返しタップして文字を切り替え、文字を入力します。
QWERTY	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。

#### 1 文字入力画面→[✳]→[入力方式]→[QWERTYキーボード]／[12キーボード]

#### フリック入力について

複数の文字や機能が割り当てられたキーの場合、上下左右にフリックすることで、文字や機能を選択することができます。  
キーに触れると、フリック入力で選択できる候補が表示されます。選択したい文字や機能が表示されている方向にフリックすると、文字入力や機能選択ができます。例えば「12キー」で「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。



## 電話をかける

### 電話番号を入力して電話をかける

#### 1 ホーム画面→[☎]→[📞]

ダイヤル画面が表示されます。

#### 2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

#### 3 [📞]→通話

通話中画面が表示されます。

通話中に[+]／[-]を押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。

#### 4 [📞]

#### 通話中に保留する

保留中は、通話先にガイダンスが流れます。

#### 1 通話中画面→[保留]

保留が開始され、通話先にガイダンスが流れます。

保留中に[⏸]をタップすると保留を解除します。

### 履歴を利用して電話をかける

#### 1 ホーム画面→[☎]→[📞]

通話履歴一覧画面が表示されます。

### 連絡先一覧を利用する

#### 1 ホーム画面→[☎]→[👤]

連絡先を選択して、電話番号欄をタップすると発信できます。

## 電話を受ける

着信すると次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「不明※」  
※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

### 1 着信中に「☎」を上をスワイプ

バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、「電話に出る」をタップします。

### 2 通話→[📞]

## 自分の電話番号を確認する

### 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]

「電話番号」の下部に自分の電話番号が表示されます。

## 機内モードを設定する

### 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[機内モード]

## 本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

## ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

また、OSアップデートも、ソフトウェア更新の機能を利用して行うことが可能です。OSアップデートとは、本製品のOSのバージョンアップを含むソフトウェア更新です。

### 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[システムアップデート]

ソフトウェア更新が必要かどうかの確認を開始します。「アップデートをチェック」をタップして確認します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードし、インストールすることができます。

- ステータスバーに🔄が表示されている場合は、ステータスバーを下にスライドし、通知をタップして画面に従って操作してください。
- ソフトウェア更新中も他の機能をご使用いただけます。

### 2 [ダウンロードとインストール]→[今すぐ再起動して更新]

#### ■ ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、SHV42をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHV42をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新を完了するには本製品の再起動が必要です。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(電話帳、メール、静止画、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- OSアップデートを行うと、以前のバージョンへ戻すことはできません。

ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください

- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

## 故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに「トラブル診断」を行ってください。

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[サポート]→[故障紛失サポート]→[トラブル診断]

または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

## アフターサービスについて

### ■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- 本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
- シャープ TVアンテナケーブル02、SIM取り出しツール(試供品)、クリアケース(試供品)などの付属品は無償修理保証の対象外です。

### ■ 補修用性能部品について

当社はこのSHV42本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)
  - ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
  - ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
  - ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
  - ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
  - ⑤ 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

※本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## ■ 故障紛失サポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。

<https://www.au.com/mobile/service/after-service/support-plus-lte/>

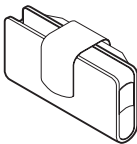
- ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au電話を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

## ■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

## 周辺機器

- シャープ TVアンテナケーブル02(02SHHSA)
- ロボクル(SHV39PUA) (別売)
- auキャリングケースGブラック(0106FCA) (別売)



- TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA) (別売)
  - TypeC共通ACアダプタ02(0602PQA) (別売)
  - 共通ACアダプタ05(0501PWA) (別売)※
  - microUSBケーブル01(0301HVA) (別売)※
  - microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA) (別売)※
  - microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA) (別売)※
  - microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA) (別売)※
  - microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA) (別売)※
  - MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA) (別売)
- ※ ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。

○ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。  
<http://onlineshop.au.com/>

## 主な仕様

### ■ 本体(SHV42)

ディスプレイ	約6.0インチ、約1,677万色、IGZO、3,040×1,440(WQHD+)
質量	約181g(内蔵電池含む)
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約74mm×156mm×9.0mm(最厚部:約10.0mm)
メモリ(内蔵)	RAM:約4GB Internal Storage:約64GB
連続通話時間(国内)	約2,110分
連続通話時間(海外 (GSM))	約900分
連続待受時間(国内)	約630時間
連続待受時間(海外 (GSM))	約650時間
連続テザリング時間	約810分
Wi-Fi®テザリング最大 接続数	10台

充電時間	TypeC共通ACアダプタ01(別売)／TypeC共通ACアダプタ02(別売)使用時:約170分 ロボクル(SHV39PUA)(別売)+TypeC共通ACアダプタ01(別売)使用時:約180分 ロボクル(SHV39PUA)(別売)+TypeC共通ACアダプタ02(別売)使用時:約170分
連続フルセグ視聴時間※1	約9時間50分
連続ワンセグ視聴時間※1	約11時間10分
撮影素子	標準アウトカメラ、動画専用アウトカメラ、インカメラ CMOSイメージセンサー
有効画素数	標準アウトカメラ 約2,260万画素 動画専用アウトカメラ 約1,630万画素 インカメラ 約1,630万画素
Bluetooth®機能	通信方式:Bluetooth®標準規格Ver.5.0 出力:Bluetooth®標準規格 BR/EDR; Power Class 1、LE; Power Class 1.5 通信距離※2:見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル※3:HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP※4、HID、PAN(PAN-NAP)、PAN(PANU)、HOGP※5、DUN※6、FTP 使用周波数帯:2.4GHz帯
ネットワーク環境	IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz/5GHz)※7/ac※7※8準拠
インターフェース	USB Type-C端子、3.5φ(4極)イヤホンマイク端子(対応イヤホン:3極ヘッドホン(Lch/Rch/GND)、4極マイク付きイヤホン(Lch/Rch/GND/MIC))

※1 使用条件により連続フルセグ／ワンセグ視聴時間は変わります。

※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

※4 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

※5 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。

※6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

※7 MIMOに対応しています。

※8 MU-MIMO(Clientモード)に対応しています。

(対応商品については各社ホームページをご覧ください。)

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

## ■ シャープ TVアンテナケーブル02

長さ	136mm(プラグ/ジャック部含む)
質量	約5g
使用温度/使用湿度範囲	5℃～35℃/35%～85%
プラグ/ジャック	3.5φ、4極プラグ/3.5φ、4極ジャック

## 携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHV42】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

本製品の比吸収率(SAR)については、オンラインマニュアルまたはauホームページ掲載の「取扱説明書 詳細版」をご覧ください。

<https://www.au.com/online-manual/shv42/>

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、auホームページをご覧ください。

<https://www.au.com/>

# Regulatory information

In some countries/regions including Europe<sup>\*\*1</sup>, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.  
Please check the local laws and regulations beforehand.

※ 1 The following EU and EFTA member countries:

Belgium (BE), Bulgaria (BG), Czech Republic (CZ), Denmark (DK), Germany (DE), Estonia (EE), Ireland (IE), Greece (EL), Spain (ES), France (FR), Croatia (HR), Italy (IT), Cyprus (CY), Latvia (LV), Lithuania (LT), Luxembourg (LU), Hungary (HU), Malta (MT), Netherlands (NL), Austria (AT), Poland (PL), Portugal (PT), Romania (RO), Slovenia (SI), Slovakia (SK), Finland (FI), Sweden (SE) and United Kingdom (UK), Switzerland (CH), Liechtenstein (LI), Iceland (IS), Norway (NO).

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SHV42 is in compliance with Directive 2014/53/EU.  
The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:  
<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

## Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,  
1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

## • Description of accessories

Headset, Handsfree	φ 3.5 audio jack, Bluetooth
USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD memory card	microSD/microSDHC/microSDXC
nano IC card	au Nano IC Card 04/non-au Nano IC Cards non-au Nano IC Cards can be used after SIM-unlocking the handset.

## • Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD VIII	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz
LTE Band 28	Tx 704.5 to 746.5 MHz Rx 759.5 to 801.5 MHz
LTE Band 38	Tx 2572.5 to 2617.5 MHz Rx 2572.5 to 2617.5 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW:20 MHz only)
WLAN 5GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW:80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW:80 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW:80 MHz)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
GNSS	GPS: Rx L1(1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1(1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1(1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1(1561.098 MHz)

## • Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD VIII	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 28	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 38	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+12.2 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4GHz	+18.0 dBm (ANT1+ANT2)
WLAN 5GHz	+18.0 dBm (ANT1+ANT2)
NFC	0 dB $\mu$ A/m at 10 m

## ■ Mobile Light

**Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.**

Be especially careful not to shoot small children from a very close distance. Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

## ■ AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

## ■ Battery - CAUTION

**Use specified Charger only.**

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

---

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

---

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

## ■ Volume Level Caution



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

## ■ Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 120.0 mV.

## ■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.20 W/kg<sup>\*2</sup> and when worn on the body is 0.77 W/kg<sup>\*2</sup>.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

---

\*2 The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

## FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:  
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the System & the Authentication under the Settings menu.

### Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

### Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

### FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

#### Highest SAR value:

Model	SHV42
FCC ID	APYHRO00260
At the Ear	0.42 W/kg
On the Body	0.49 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety>.